



～ 夢ひとすじに～

宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 28 年度 第 9 号
平成 29 年 1 月 6 日 (金) 発行
さいたま市立宮原中学校
メールアドレス

miyahara-j@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス

<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「積極的に学び、心を磨き、自らを鍛える一年に！」

こばやしひろとし
校長 小林 広利

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、生徒の皆さん、保護者・地域の皆様には、本年が幸多き年になりますように祈念申し上げます。

今年も宮原中学校の生徒たちが生涯にわたって自分の思いを実現できる力を養えるよう「夢と希望・自信と誇り」をもたせることのできる教育を推進してまいりたいと思います。保護者・地域の皆様には今年も本校の教育活動にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒の皆さんは、「夢と希望・自信と誇り」をもちたいと思うものの、自分はいまうまくいかないことの方が多いと思ってしまうこともあるでしょう。中学生という年齢は特に感受性豊かですから、人と比べて短所をあれこれと気にして、自分が嫌になってしまうことすらあると思います。そのような時に、暗く卑屈な気分の人と接すれば、相手にもそれが伝わり自己嫌悪すら募らせてしまいます。

しかし、ものは考えよう、気持ちはもちようです。少し見方を変えてみると、小心者で不器用と思っていたことは、実は几帳面で謙虚な自分であったり、運動は苦手だけれど、体育の時間には身体を一生懸命に動かしている自分がいたり、カラオケに行けば歌のうまい自分がいたりします。このように少しでもよい点に目を向けて、学び続け、自分をコツコツと磨き、鍛えるならば、自信が芽生え気分も輝くものです。その輝きは周囲の人にも幸せを呼び、それがまた自分に返ってくるものです。

現在のパナソニックである、松下電器（ナショナル）を創業した松下幸之助さんは、大正6年、奥様とその弟さんの3人で、アタッチメントプラグの製作を始めました。アタッチメントプラグとは、電気器具と配線を接続するための差し込みプラグですが、当時（大正時代）の家庭での電源は、コンセントではなく電灯のソケットから電気をとる時代だったので、このプラグは大人気となり、3人で毎日夜遅くまで作っても注文に応じきれず、初めて数人の人を雇い入れることにしたそうです。当時は、どの工場でも原料や製法など生産技術に関する情報は、親族など信頼のおけるごく一部の人にしか知らせないのが普通だったようですが、松下幸之助さんは、それでは能率が悪いし従業員に知ってもらったほうが気持ちよく仕事ができると考え、その製法をすべての従業員に教えました。松下幸之助さんは、「自分は学問もなく、病弱だったためか、人が皆、えらく見えた。だから、人を信頼して仕事を任すことができた」と言います。もちろん、その信頼を裏切られたこともあったかもしれません。しかし、基本的な考えの中に「人間は、信頼に値する」という、人に対する確固とした信念があったのだと思います。また、このようにも述べています。「ダイヤモンドは磨けば必ず光が出る。人間はダイヤモンドの原石のようなもの。光り輝く本質があり、その光を求めて磨いていけば必ずそうなる。」企業も、学校も、家庭も、地域社会も、すべて人の集まりであり、人の営みによって動いています。ならば私たちは、まず自分のよさを見つけ、周りの友達や家族、先生や地域社会の人たちのよさに目を向けることが大切です。そして、お互いの「よさ」を磨きあうやさしさをもつことが重要なのではないのでしょうか。

積極的に学び、心を磨き、自らを鍛え、未来に大きく羽ばたくために、生徒の皆さんは、次の事柄を心に刻み、楽しい充実した学校生活を送れるように、皆でよい一年を創り上げていきましょう。

- ・ 自分を信じよう。仲間や周りの人に温かく接しよう。あいさつ・返事で絆を深めよう！
- ・ 友達の気持ちを考えよう。みんなで輝くためにいじめは絶対にいけません！
- ・ 正義を貫こう。自分が嫌なことは友達も嫌です。周りの人が「やめな」と言う勇気も必要！
- ・ 積極的に学ぼう。授業を大切にしよう。行事・部活・学級・家庭・地域で自分を伸ばそう！
- ・ めんどくさがらない。あきらめない。成功の影には粘り強い努力があることを知ろう！
- ・ 目標を立てて努力しよう。小さな目標でも、達成すれば自信につながる！
- ・ 健康に気をつけよう！ 事故にあわないように、事故を起こさないように注意しよう！